

平成24年行政事業レビューシート

(復興庁、環境省)

<b>事業名</b>	福島環境回復・創造等調査・研究拠点整備費補助		<b>担当部局</b>	復興庁/環境省総合環境政策局		<b>作成責任者</b>	尾関 良夫(復) 長坂 雄一(環)	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度～		<b>担当課室</b>	統括官付参事官(予算会計担当)/総務課環境研究技術室				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	福島復興再生特別措置法第33条		<b>関係する計画、通知等</b>	福島復興再生基本方針(平成24年7月閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	放射線物質の環境中の動態解明、放射性物質汚染廃棄物・土壌等の処理・処分技術の評価・開発等、さらなる研究開発の推進を通じて、福島において子どもや親たちをはじめとする住民が安全に安心して生活する環境を回復する。また、地元の住民が安心して豊かな生活を営める環境を実現する等のための新たな産業の創出等に寄与する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	文部科学省が平成23年度補正予算に計上した「福島県環境創造センター(仮称)」を置くための福島県原子力災害等復興基金80億に、施設整備費、運営費、研究費を上乗せするための補助金を交付し、完成後は、同センターにおいて、放射性物質汚染廃棄物・土壌等の処理技術の評価・開発や、放射性物質の環境中での動態解明、生態系影響等の解明のための研究を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	13,958	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、成果指標の設定は困難である			件	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	24年度活動見込
	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、活動指標の設定は困難である			件	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、単位あたりコストの算出は困難である				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	地域環境保全対策費補助金	-	13,958	新規要求				
	計	-	13,958					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・福島復興再生基本方針により、国は、放射線の人体への影響等に関する研究開発の推進等のための必要な措置を講ずることとされている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・文部科学省が平成23年度補正予算に計上した「福島県環境創造センター(仮称)」を置くための「福島県原子力災害等復興基金」に施設整備費、運営費、研究費を上乗せするために福島県に補助金を交付するもの。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・福島県、(独)国立環境研究賞、(独)日本原子力研究開発機構、(独)放射線医学総合研究所、関係する研究機関等が、連携・協力しながら、放射能に関する研究を実施する。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		・国として実施すべき事業を、関係自治体と協力しながら、適切に進められるものである。	
予算監視・効率化チームの所見			
		「福島研究開発・産業創造拠点構想(仮称)」に基づいて、福島県が設置する「福島県環境創造センター(仮称)」の整備を推進するよう努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-